

令和2年3月31日

赤穂市長 宛

福浦コミュニティセンター管理業務事業報告書

福浦コミュニティセンター

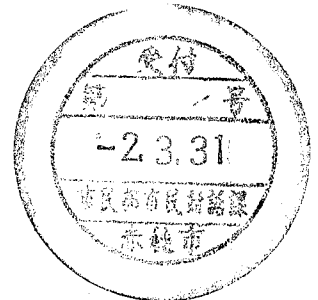
運営委員会 会長 大河 英雄



令和元年度福浦コミュニティセンターの管理業務について、別紙のとおり報告する。

記

- (1) 管理業務の実施状況及び利用状況
- (2) 管理業務にかかる経費の収支状況



(1) 管理業務の実施状況及び利用状況

利用団体の区分	利用件数	利用人数
スポーツ団体、文化団体等	328件	3,656人
自治会・婦人会・老人クラブ等各種団体	86件	980人
その他の団体及び行事	24件	708人
合 計	438件	5,344人

令和元年度 福浦地区コミュニティ・センター 会計報告書

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
市委託料	1,152,870	福浦地区コミュニティセンター管理委託料
雑収入	6	預金利息
合 計	1,152,876	

支出の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
電気代	608,513	
ガス代	35,559	
水道代	24,588	
消耗品費	77,006	トイレットペーパー、蛍光灯電球、インク、用紙等
NHK聴取料	14,910	
会議費	3,500	御茶代
管理費	388,800	トイレ掃除、グラウンドの草取り、法面の草刈等
合 計	1,152,876	

上記の通りご報告申し上げます

令和2年3月31日

赤穂市立福浦地区コミュニティ・センター運営委員会

会長 大河 英雄



令和元年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称		赤穂市立福浦地区コミュニティ・センター					
所在地		赤穂市福浦4050番地					
指定管理者	団体名	赤穂市立福浦地区コミュニティ・センター運営委員会			指定期間	開始日	平成30年 4月 1日
	所在地	赤穂市福浦3579番地				終了日	令和 3年 3月31日
選定方法		非公募			評価実施年	指定期間 3年のうち 2年目	
施設設置目的		赤穂市福浦地区の住民が連帯意識を高め、人間性豊かな地域づくりと住民福祉の増進を図る。					
主な実施事業		赤穂市立福浦地区コミュニティ・センターの管理・運営					

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	H30実績	目標	R1実績	目標	R2実績
a	利用者数	人	5,000	5,320	5,000	5,344	5,000	

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度予算
収入計 A		1,141,516	1,152,870	1,152,870
指定管理料		1,141,510	1,152,870	1,152,870
その他		6	6	6
支出計 B		1,141,516	1,152,876	1,152,876
事業費		1,141,516	1,152,876	1,152,876
内、人件費 C		388,000	388,800	392,640
事業収入		A-B	0	0
人件費率		C/B	34 %	35 %

・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。		B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	①サービスの履行に関する評価	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	A
		言葉使い、態度、服装等接客が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、必須事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。		B	A	
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
	利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	A	
総括	②サービスの質に関する評価	B	B	
③ 安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	③安定性に関する評価	B	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 高齢者大学や卓球、バレーボール、社交ダンス等地域住民の教養、健康を増進する場として多くの方に利用され、地区の人口減少、高齢化が進む中でも、前年度並みの利用数を保つことができています。 今後とも、管理運営基準や基本協定書の趣旨、内容を順守し、適切な管理に努めていきます。		
	【所管評価】 福浦地区コミュニティ・センターは、福浦地区の各種スポーツ団体、文化団体の活動の場として、また自治会や老人会、PTAなどのまちづくり団体の集会場として必要不可欠な施設である。 地元の各まちづくり団体からなる管理運営委員会により、適切な管理運営がなされており、利用者対応も適切である。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価項目の評価が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価項目の評価の内、Cが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。